

『イエス様の御姿とあなたの姿』

ピリピ2：1～11

～自分を見つめ自分を知る～

あなたの本質は何ですか？と聞かれて皆さんはすぐに答えられるでしょうか？神様は私たち人間を神様に似せてお創りになりました。それでは、神の本質とは何なのでしょう。神の本質は「愛」です。神のどの部分を見ても全ての行い、全ての考えの基準となるのは本質である「愛」からくるのです。それでは神の御姿に似せて創られた私たちの歩みは神のようにどこから見ても本質を基準として行動できているのでしょうか？私たちが自分はどのような性格なのかを考える時、例えば「頑張り屋」⇔「めんどくさがり」、「まじめ」⇔「ずぼら」など自分の中に相反する矛盾したものが存在する事が多いのです。あなたの本質がプラスに働いた時は長所となり、マイナスに働いた時は短所となる、だから矛盾したものが存在するという事が言えます。しかし、本質は一つです。ですから、本質の為に生じた行動が全てにおいて一致している事が本来の望ましい私たちの姿だと言えます。イエス様は人の子としてお生まれになりましたが、本質は捨てませんでした。イエス様が捨てたものは、私たちに置き換えて考えると「プライド」です。私たちは自分のプライドを保つ為に本質をごまかした生き方をしてしまうのです。ですから、世の中に流されたり、自分の考えを持たず、気づけば自分はどうしたいのかわからないという状態に陥ってしまうのです。神を知っている私たちは私たちに使命があり用意された祝福がある事を知っています。しかし自分自身で自分の本質を知っていないと何も前に進みません。では、私たちの本質とは何なのでしょう。私たちは神の御姿に似せて創られたのですから、私たちの本質は神と同じ「愛」という事になります。その「愛」という本質を具体的にしていくには人としてお生まれになったイエス様の御姿を習う事が大切です。自分の前にどのような状況が押し寄せても人から何を言われようと、その時こそ自分の本質を思い出し、イエス様に習うべきなのです。クリスチャンとは「キリストに習う者」という意味です。あなたが「私はクリスチャンだ」と思うなら、「その時イエス様ならどうするか」を考え祈り、行動していかなければ「クリスチャン」とは言えないのです。アブラハムは神の信仰を、ソロモンは神の知恵を習いました。聖書に出てくる、神にイエス様に習った先人達は皆、神に愛され祝福され栄えたではありませんか。私たちももう一度自分を見つめ自分を知りイエス様の御姿を習う者となりましょう。①**本質を知る**。自分の行動や思いの根底に「愛」があるか確かめて下さい。自分の心の中に恐れや不安があるなら神の愛の基準からそれかけています。本質のゆえの行動かどうか、いつも照らし合わせて下さい。その為に自分お本質を知り続けて下さい。本質を知れば的を外す事はありません。②**①を中心に語る**。(箴言 18:20～21) 私たちが普段何気なく語っている言葉に本心が出るものです。あなたが口に出している言葉は本当に本質から出ているものでしょうか。あなたが語る言葉によって、収穫につながるかそうではないか決まるのです。言葉は本質と一致していなければ良い影響を与える事はできませんし、発した言葉はやがて自分に返ってきます。③**①を土台に欲を捨てて歩む**。私たちが本質を土台に私利私欲・自分勝手な思い・プライドを捨てて歩む事が出来たなら、結果あなたが望む以上のものが与えられます。しかしあなたの土台が私利私欲だと神の祝福は与えられません。この3つをあなたが行うならその結果、あなたの必要は全て満たされ、目的は達成されます。あなたの本質は神の御姿に似たすばらしいものです。本質を邪魔する余分なものを捨て去り、本来のすばらしい姿を取り戻しましょう。